

福祉委員 って？

大津市においては昭和61年度から市社協の働きかけで誕生しました。福祉委員は、自治会から選出いただき、社協で委嘱しています。真野学区では、各地域でのサロンの開催、登下校時の見守り、真野っ子塾の開催を始め、民生委員児童委員の方と連携し、高齢者友愛訪問やいのちのバトンの普及活動に努めています。

地域ふれあいサロンの開催

各自治会では、福祉委員を中心にサロンを開催しています。地域によっては、子ども会、老人クラブの皆さんと企画のアイデアなどを出し合い三世代交流の出会いの場になっているところもあります。内容は多彩で、講話、寸劇、体操、手品、作品作りなど、特に生演奏による懐かしい歌、演歌、民謡などの大合唱が一番の人気となっています。身近な場所でのサロンの開催は地域のふれあい支え合いのまちづくりの基盤となっています。



健康指導を受けています



門松づくり



三味線の音色とともに



三世代
交流サロン

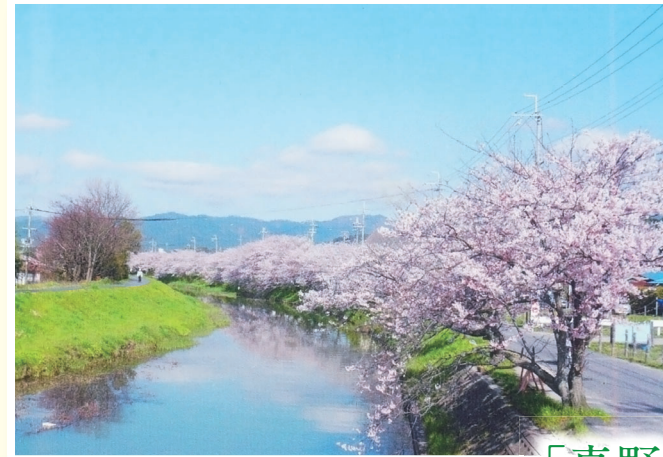


ふれあい喫茶



連絡先

真野学区社会福祉協議会 大津市真野四丁目6-2 (市民センター)
社会福祉法人大津市社会福祉協議会 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津5階 ☎526-5336



「真野の四季」



真野学区社協です

スローガン

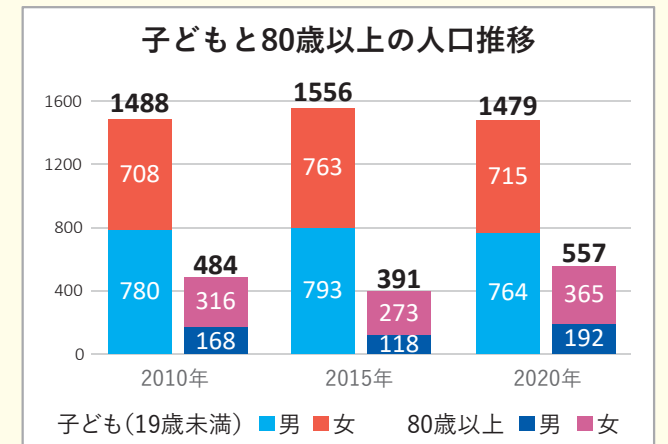
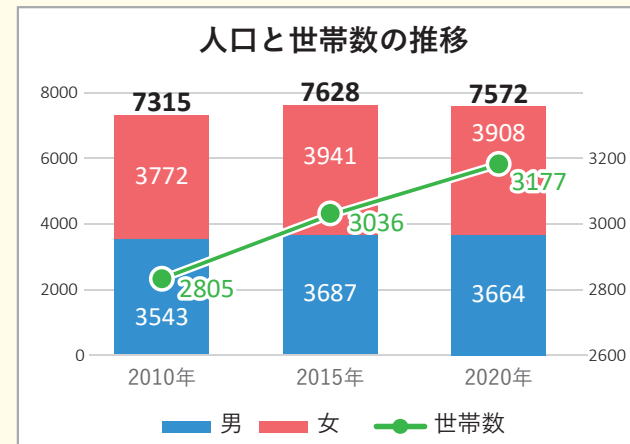


見守り、声掛け、身近で寄り添う真野学区

私たちの
まち

真野学区の数字

真野学区は、駅西口区画整理事業が完了し、交通の利便性もあいまって住宅開発が進んでいます。かつての農村集落から、今や永住の地として第二の故郷に選ばれる街となり、人口が増加する地域となっています。



真野学区社会福祉協議会

2021年3月発行

学区社会福祉協議会 (学区社協)って？

学区社会福祉協議会（通称、学区社協）は、住民が主体となって地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組む団体です。

大津市では、小学校区ごとに36学区社協が自治会をはじめとする各種団体と協力し合って組織をつくり「このまちに住んでよかった」と思える福祉のまちづくりを進めています。

学区社協 6つの取り組み

- ① **ふれあう** ふれあいサロン、ふれあい給食サービス、敬老事業、寺子屋プロジェクトなど
- ② **学ぶ** 福祉のまちづくり講座、地域福祉講座など
- ③ **支える** 学区ボランティアグループやふれあいサロンの支援など
- ④ **見守る** 見守りや声かけ活動、助け合い活動など
- ⑤ **知らせる** 学区社協広報誌の発行など
- ⑥ **募る** 会費・賛助会費・共同募金など

財源について

学区社会福祉協議会の主な財源は、自治会を通じてお願いしているみなさまからの「会費」や「共同募金」のほか、市社協からの事業助成金などです。今回ご紹介している地域の実情に応じた福祉活動を推進するためには、自主財源である会費がとても大切となります。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

真野学区社協の活動

スローガン

見守り、声掛け、身近で寄り添う真野学区

お元気サロン

初夏と晩秋の社協の一大イベントです。落語会、歌、民謡ショーなどいろんな出し物があります。なかでも好評なのは手作り演芸の「とんちんかん一座」です。観客と出演者が一つになり満場の喝采を浴びる名物となっています。シナリオ、演出、衣装、小道具、背景画など全て手作りです。もちろんセリフは真野弁です。参加者、出演者、スタッフも共に楽しんでいます。



お元気サロン風景

登下校の見守り

真野学区では、各種団体が協力して、小学生の登下校の見守り活動をしています。毎月一日の朝は校門前で、「おはようございます!」「おはよう!」と元気な声が飛び交います。長年続いている朝の挨拶運動です。また、水曜日の一斉下校に合わせて、月2回通学路の要所要所に大人が立ち、子どもたちの下校の様子や安全を見守っています。「おかえり!」「ただいま!」と、ここでも大きな声での受け答えに笑みがこぼれます。福祉委員も当番を決めて見守り運動に参加しています。



真野っ子塾

真野に住む子ども達を対象に、地域の各種団体の皆さんの支援を受けて行っています。夏休みや冬休みの長期休暇中に数日ずつ開催。温かい雰囲気の中で安心して宿題や学習ができる場を設けると共に、楽しい実験なども取り入れながら学年を超えたつながりや、地域でのつながりをもてる居場所づくりに努めています。



親子でお菓子作り

レーク大津堅田のふれあい調理室をお借りして、和菓子やケーキ作りを行っています。先着順の申し込みがすぐに一杯になる大好評の事業です。真剣に取り組んでいる子どもたちと、それを見守る親御さんの姿は、どちらもほほえましい光景です。



高齢者友愛訪問

敬老月間の健康長寿をお祝いする事業として、民生委員児童委員と共催で実施しています。「敬老会」に代わるものとして、88歳以上のお宅を訪問し、日頃の生活の様子をお聞かせいただくと共に、お祝い品と手づくりメッセージカードを添えてお届けしています。



心をこめて準備中

いのちのバトンの普及活動

緊急時、救急隊員さんなどに必要な情報を知らせるために、医療情報を冷蔵庫で保管する容器が《いのちのバトン》です。健康やひとりであることに不安を抱えている方の安心につながる取り組みです。飲んでいる薬やかかりつけ医院、病名などを書き込んでおきます。福祉委員、民生委員児童委員が協力して地域を回り普及に努めています。



鯉のぼり祭りに参画

1998年の市制100周年をきっかけに始まった鯉のぼり祭り。以来学区挙げての最大イベントとなりました。幼・小中学校を始め各種団体や近隣施設に呼びかけ、それぞれがカラフルな図案を考案し、不織布に描きます。制作から掲揚まで参加者全員でかかわります。約100匹の個性豊かな鯉が5月の真野川に泳ぎます。我々もメンバーとして今後とも積極的に参画していきます。



サロンで絵付け中